

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 愛知県豊田市立 藤岡南中学校

種 別  保育園・幼稚園     小学校     小中一貫教育  
 中学校     中高一貫教育     高等学校  
 教員養成     技術/職業教育  
 特別支援学校     その他（                      ）

所在地 〒470-0431

愛知県豊田市西中山町蔵屋敷 8 6 番地 1

E-mail [c-fujiokaminami@toyota.ed.jp](mailto:c-fujiokaminami@toyota.ed.jp)

Website [http://www2.toyota.ed.jp/swas/index.php?id=c\\_fujiokaminami](http://www2.toyota.ed.jp/swas/index.php?id=c_fujiokaminami)

児童生徒数 男子 209 名    女子 194 名    合計 403 名

児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（                      ）

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

##### ①活動の概要

- 4月 全校避難訓練 ー避難方法の検証、振り返り（総合）  
東日本大震災写真展 ーカメラマン三浦寛行さんによる講演会（総合）
- 5月 地域住民とのDigを実施
- 6月 地域合同防災演習 ー地域コミュニティ、消防との避難訓練  
救急救命講習 ー人命救助における知識と経験を積む
- 7月 家からの避難ルートの事前調査ー地域防災センターのご指導を受け、家から避難所までの避難ルートの調査、地域防災マニュアルの構成
- 8月 防災キャンプ ー学校を避難所に想定し、炊き出し訓練、避難ルールの評価、  
9、10月 マニュアルの作成、運用方法の検証、発行

##### ②活動の具体的な内容

###### 『校区にある4つの地域の二次災害の危険を知る』

大規模災害発生後の平常時には被害をもたらさない規模の余震や降雨によって緩んだ地盤の崩壊を引き起こす可能性がある。避難時に人命に危険を及ぼす二次災害の発生を防止するための活動を行った。

###### (1) 事前の地域調査の実施

- ア 生徒と地域の住民、地すべり防止管理者、学校管理者とともに被災状況を想定し、点検、評価し居住地域がもつ二次災害の可能性について把握。さらに、地域防災研究センターに協力をいただき、調査の評価、分析、災害後の避難所への安全なルートの確保し、ハザードマップを作成した。
- イ 余震、降雨等の情報の的確な把握、伝達方法を上記の調査をもとに地区ごとの避難ルートを作成し、学校ホームページにWebハザードマップを掲載した。

###### 『学校を主体とした防災教育の推進モデル開発』

東日本大震災以降、避難訓練は「より実践的に」と改善されることが求められている。避難するための訓練から『自分たちの地域は自分たちで守る力・自分の命は自分で守る力』を教科や学級活動、道徳と関わらせて、系統的・体験的に示し、豊田市の中学校に向けた防災教育の推進モデルを目指した。また、助けられる存在から、地域住民を助けるための知識と技能を学び、災害発生時の判断力と実践力を高めるための実践を行った。

###### (1) 防災教育を教科の内容や特別活動との関連付け

教科の指導計画から防災教育に関連する内容を配列し、生徒の発達段階に応じて、系統性を持たせて計画的に実施した。

###### (2) 地域住民、消防団員、生徒とDIG（災害図上訓練）の実施。

校区にある洪水、土砂災害ハザードマップと生徒の住居から通学路、川や水路、降雨時の浸水想定区域、土砂災害警戒区域を記入し、校区の災害危険性の確認を行った。

###### (3) 関連団体と連携した防災専門部と生徒をつなぐ。

- ア 消防、地区の消防団から講師を招き、生徒が負傷者の応急処置、負傷者の運搬するための知識と能力を身に付ける救命救急講習を実施。
- イ 調理科のある高等学校と協力し、炊き出しの食品の保管方法の知のために避難食の開発を行った。
- ウ HUG(仮想避難所運営)の普及活動。地域住民や教員を含めた生徒によるHUGの実施。
- エ トヨタ自動車PHVから避難所への電力供給の有用性を検証、PHV1台で約1週間の電力の供給が可能。
- オ 実施した内容を愛知工業大学と協力し、防災教育マニュアルを作成、市内全小中学校に配布。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）